

日本社会福祉系学会連合

「これまでの取り組みと今後の方向性について」

日本社会福祉系学会連合 事務局長 金子光一

2015年度、日本社会福祉系学会連合は、「日本社会福祉系学会連合規程」第4条に基づき、「会員等の活動に関する情報交換」「シンポジウム等の開催」「日本学術会議の活動に対する支援と協力」を大きな柱として事業を展開しました。「シンポジウム等の開催」では、災害福祉学の構築にむけて、「災害福祉学の構築—支援者支援を考える—」をテーマに公開研究会を開催し、その内容をとりまとめHP上で公開しました。

(http://jaswas.wdc-jp.com/pdf/H27_report_01.pdf)

また、東日本大震災への対応として、社会福祉学領域における震災関連の研究論文や報告書などを収集し、学会連合HP内にある災害福祉アーカイブの構築を継続して行いました。

(<http://jaswas.wdc-jp.com/archives/index.html>) さらに、日本社会福祉学会岩田正美会長からの依頼により、加盟学会会長宛てに社会福祉系学会会長共同声明「戦後70年目の8月15日によせて」への賛同の呼びかけを行いました。

2016年度から、学会連合の運営体制が新しくなりました。「日本社会福祉系学会連合規程」の第6条に基づき、会長は会員学会の担当委員の互選により日本社会福祉学会の黒木保博副会長が選出され、会長の委嘱により、事務局長は金子光一、会計担当は李恩心氏、監事田中英樹氏がそれぞれ候補者となり、2016年5月29日の総会で承認を得ました。その他の運営委員は、日本社会福祉学会から後藤広史氏、小櫃俊介氏、日本司法福祉学会から小林良子氏、日本社会分析学会から高野和良氏、日本職業リハビリテーション学会から志賀利一氏が、会長の委嘱を受け、就任しました。

新しい運営体制においても、これまで同様、会員等の活動に関する情報交換、シンポジウム等の開催、日本学術会議の活動に対する支援と協力を進めて参ります。

情報交換としては、まずリニューアルしたHPを活用し、更なる会員との情報共有に努めて参ります。加盟学会の大会等に関する情報を掲載（毎月更新）するとともに、本連合および日本学術会議等の最新情報を適時、掲載します。また、学会連合の活動内容を広く会員に周知するため、年2回、電子版ニュースレターを発行する予定です。さらに、2012年より行っている「災害福祉アーカイブ」を継続して実施します。シンポジウム等の開催につきましては、2016年4月14日の熊本地震を契機として、これまでの災害福祉研究の成果を検証し、今後に向けた展望を議論したいと考えております。開催時期、開催場所等は未定ですが、今後運営委員会で十分に協議し、実施に向けて努力したいと思います。日本学術会議の活動に対する支援と協力につきましては、日本学術会議社会学委員会社会福祉学関連分科会である「社会学委員会社会福祉学分科会」による研究活動を支援します。なお、事務局業務は、昨年度に引き続き、(株)国際文献社へ委託します。

2006年に創設された日本社会福祉系学会連合も10年の節目を迎えます。新しい運営体制の下、加盟学会にとって有意義な組織体として、これからも積極的に活動を続けて参ります。